

# 2024年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2回生 氏名 磯部 紗希

## 台湾研修概要

私は、8月25日から8月31日までの7日間、台湾での海外研修に参加しました。

元培医事科技大学では交流を深め、中国語講座を受けました。病院見学では、國泰醫院、台安醫院を訪問しました。そして、Big City や中正紀念堂、饒河夜市、九份、台北101を観光しました。【写真1,2】

## 本研修に参加した目的と目標

私が本研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分自身を成長させるためです。私は大学生活でコミュニケーション能力を身につけたいと考えています。しかし、初対面の人に自ら話すことが苦手なので、克服するための経験のひとつだと思い、参加しました。そして、自分から話すことを心がけてコミュニケーションを取ることを本研修の目標にしました。2つ目は、台湾の医療や文化を知ることができると思ったからです。そこで、病院見学で日本との違いを学び、観光や生活を通して台湾の文化を知るという目標を持ちました。以上の目的と目標を持ち、台湾研修に参加しました。

## 学内研修で学んだこと

学内研修で学んだことは2つあります。1つ目は、「自分の想いを伝える大切さ」です。自分からコミュニケーションを取ることを目標にしていたのですが、特に初日は緊張していたこともあったため、何を話していいかわからず、積極的に話しかけることはできませんでした。2日目以降は緊張がほぐれ、楽しく話して交流することができました。中国語講座の時以外でも習った中国語で挨拶や「ありがとう」を言ったり、一緒にご飯を食べた時に英語とジェスチャーを使って話したりしました。また、バドミントンや卓球をしたり、日本と台湾の共通の手遊びや台湾の手遊びなどをして交流を深めることができました。【写真3,4】このことから、私は共通言語である英語やジェスチャーを使い、勇気を持って自分の想いを伝えようとするのが大切だということを学びました。2つ目は、「医療を学ぶ学生としての心構え」を学びました。元培医事科技大学の創設者である蔡先生は、医療を学ぶ学生として、日常生活や身だしなみを整えるということを大切にされていました。医療現場で働く時には、基本的なことや細かいことを丁寧に行う必要があるため、自分も挨拶や身だしなみなどは常に意識していきたいと思いました。

## 学外研修で学んだこと

病院見学をさせていただいた時に、日本の病院との違いを学びました。台湾の病院では、身分証のようなカードに身長や体重、血圧などの身体測定の記録や来院記録などができるということを知り、日本では見たことがなかったので関心を持ちました。また、台湾の中でも健康に力を入れている一つの病院に台安醫院があります。この病院では予防医学を重視しているため、「病院のレストランに栄養士がいる」、「運動をするための施設

があり、運動方法を指導する専門スタッフが揃っている」、「健康を考えた取り組みがある」など多くの特色を持っています。私はこのような病院があることを知らなかったので、とても印象に残っています。【写真5】

## 観光&交流

観光や交流を通して、台湾の文化を知ることができました。台湾は日本とは違い、お土産文化がとても盛んでした。初日、寮に着いた時に台湾の学生の方が手紙とお菓子を用意してくれていたり、送別会では台湾の学生の方、い一人一人からプレゼントをもらったりしました。台湾の学生の方は私たちをたくさんもてなしてください、毎日感謝することによっていっばいでした。

## まとめ

本研修は、とても充実した1週間を過ごすことができ、本当に良い経験になりました。最初は思った通りに英語で会話をすることができませんでした。日が経つにつれてコミュニケーションを取ることが楽しいと思えるようになりました。このことから、私は、勇気を持って想いを伝えようとする事と相手の伝えたいことを汲み取ろうとすることが大切だということ学びました。

本研修で学んだ多くのことを今後の様々な場面で活かしていきたいです。

## 謝辞

海外研修という貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。お忙しい中、研修を受け入れてくださった元培医事科技大学、國泰醫院、台安醫院の皆様には深く感謝申し上げます。そして、引率してくださった屋木祐亮講師、本谷崇之助教、本研修の準備に関わってくださった本学の事務の方々に深く感謝申し上げます。また、本研修に快く送り出してくれた家族、共に参加した仲間へ感謝します。



▲写真1【九份 千と千尋の神隠しのモデルとなった場所】



▲写真2【台北 101 の中での写真】



▲写真 3【中国語講座】



▲写真 4【手遊びなどをして交流】



▲写真 5【台安醫院の健康を考えた食事】